

—私流テレワークはコレ！

通勤時間の削減でより効率的なビジネススタイルに。
社内コミュニケーションも活性化しています！



デザインジェットビジネス本部
柏木優一（27）

■ コロナ前と現在の働き方の変化

私は、大判プリンターのビジネスモデル計画立案とその実行、結果の管理などおこなっています。営業部やマーケティング部のメンバーと連携をとりながらビジネスが円滑に回るように管理する役目です。主にデスクワークが中心です。

コロナ禍以前は、月曜の朝にミーティングがあったのでそこから一週間が始まりました。週に2日は国内業務、残り3日はシンガポールなどの海外チームとグローバル業務をおこなう感じです。

2020年の最初の緊急事態宣言で完全テレワークに移行しましたが、もともとデスクワークがメインだったので大きな変化は感じませんでした。自宅から会社への通勤が不要になったことが一番の変化だと思います。

以前は通勤ラッシュを避けるために時差通勤なども取り入れていましたが、遅く仕事を始める分、終わるのも遅くなってしまったりなど、ある意味不規則な環境にありました。今は、通勤が無くなったので毎日9時ぴったりに仕事を始めることができ、業務効率がとてもよくなったように感じます。何よりも電車移動はいくら時間をずらしても混んでいますから、そのストレスが無くなったのが一番大きいかも知れませんね(笑)。



画像：いつもこの部屋で仕事をしています。椅子と、モニター(ここには映っていませんが)、会社の補助金で買ったものを使っています。

■会社の仲間や上司とのコミュニケーションは？

基本的に Web 会議でおこなっていますが、チャット機能もテレワークが始まりよく使うようになったツールの一つです。オフィスで業務する際は、「ちょっと教えて」と直接聞くことがお互いにできていましたが、テレワークでは、その代わりにチャット機能でコミュニケーションを取っています。

また、以前は私が会議などで席を外していると、タイミングが合わず他のメンバーとの簡単な確認や情報共有ができないことがありました。今はチャットで気軽に伝達できるので便利になりました。会議中でも終わればすぐ対応できるので、情報共有が楽に、そして早くなったような感覚があります。

この方法だと些細なことでも言葉のキャッチボールがやりやすいので、以前よりも会話が活性化した印象もあります。今回のコロナ禍でみんなの意識が変わったと感じる部分でもありますね。

■テレワークでの健康管理は？

今は仕事をきちんと 19 時に終わらせるようにしています。その後はヨガマットを敷いて 15 ~ 30 分ぐらいストレッチをやるようにしています。

実は 2020 年のコロナの第二波が終わった秋ぐらいから、ひどい腰痛に悩まされるようになりました。ひどいときは早朝に起きてしまうぐらい痛くて、階段の上り下りも苦痛になるほどでした。それから、腰の様子を見ながら毎日ストレッチを行うようになり、体調がすっかり良くなりました。やっぱり筋肉は使わないと衰えてしまうので、適度の運動は必要なんだなと実感しました。

【テレワークで買ってよかった逸品紹介】



無線ルーターですね。前に使っていたのはそれこそ 10 年前ぐらいのモデルだったので、機嫌が悪い時にはダイヤルアップ並に遅くなることのあるほどで、最悪なケースだと会議中に固まってしまうこともあったほどでした。それを最新の 5GHz 帯が使えるものに買い替えたら、電波は安定し会議もスムーズにできるようになりました。テレワークには通信環境が本当に大切なんだなと実感しました。

■テレワークを続けてよかったこと、困ったこと

扱っている製品がプリンターなので印刷物の品質チェックの話もしますが、画面越しでは全く伝わらないことが一番困っていることです。国内外問わず、この話をするときには今でも会社に出社するようにしています。

そういう意味では、私たちにとっては実機のあるショールームがとても重要な場所だと思います。特に日本のお客様は印刷に関して品質をととても気にされるので、実際に納得いただくまでお見せするのが一番だと考えています。製品が細かいところまで配慮されていることをしっかりお伝えしたいので。

また、トラブル対応をする際、以前はメンバーで集まって話し合いながら解決していたので、テレワークでは難しいかなと思っていました。実際には Web 会議とチャットでうまく対応できることが分かりとても安心しました。これは通勤時間がなくなったのと同じぐらいうれしい出来事でした。

私の友達の中にはテレワークがうまく機能していない、なんていう人もいますが、HP はコロナ禍になる前からテレワークの環境が整っていました。営業会議も出張先から参加する人や、子育て中で自宅から会議に参加する人もいます。緊急事態宣言が出て誰もあわてず仕事が続けられたのは、その下地があったからだと思います。私自身も出張先から参加したり、海外にいる上司とは定期的にオンラインで会話をしていたため、何事もなく業務ができているのはそうした理由が大きいと思います。

それと友達と話していてよく出てくる話題に会社への帰属意識が薄れるなんていうのがあります。私の場合はまったく逆で、テレワークになって逆に高まったタイプです。もともと製品が好きで、どうやったらうまくいくかを考えるのですが、自分が何か発案すると、日本はもちろん海外の部署も協力してくれる。そんなところにも嬉しさを感じます。

HP は基本的に人を信用して任せるという社風であり、最初から自己裁量・個人主義な雰囲気で見一見ドライかもしれません。勿論、自分からアクションしないと何も起きませんが、実際は国籍問わず必ず誰かが見守ってくれています。そして、ふさわしい環境があれば誰もが良い結果に向け取り組むだろうという“HP Way” の考え方が社員に浸透しているからこそ、コロナ禍でも気持ちが変わらず取り組めるのではないかと考えてます。

■ アフターコロナへ向けて。会社への要望

テレワークは続けたいと思いますが、私は人と関わるのが好きなタイプなのでオンラインだけではちょっと物足りないところも正直あります。週 3 日はテレワーク、残り 2 日は出社みたいなパターンが理想です。業務の内容や個人のニーズに合わせて、柔軟に出社が選択できる制度になると嬉しいです。

また、椅子やモニターへの補助制度や周辺機器の貸与についても、今後も継続していただきたいと思います。